

令和2年度 国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業 研究協議会

1

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校

研究主題

言葉による見方・考え方を働かせ、
正確に理解し表現する資質・能力を
育成するための指導方法とその評価

—新学習指導要領の全面実施にむけて—

- 「書くこと」領域における，資質・能力を育成するための指導方法の工夫と検証。
- 新学習指導要領を踏まえた学習評価の工夫。

前年度の課題

- 単元及び年間計画の目標の明確化が不十分。
- 生徒と教員との目標の共有が不十分。
- 学習評価の客観性の確保が不十分。

目標や評価に関する課題

- 「語彙」に関する，学年段階に応じた手立ての検討が必要。

「語彙」に関する課題

- 1 目標や評価に関する取組
 - 1－1 振り返りの工夫
 - 1－2 評価の工夫
- 2 「語彙」に関する取組
 - 2－1 日常的な取組
 - 2－2 「書くこと」と関連させた取組
- 3 各学年の授業実践
- 4 成果と課題

1-1

6

3年生「書くこと」←

	6	「書くこと」	9	単元	1
①資料の設定・ 情報の収集・ 内容の検討	言葉を選ぶ（「伝わる」表現とは何かを 考え、選んだ言葉についてわかりやす く説明しよう）	文章の形態を選んで自分の思いに出 た出来事を文で表そう（話し言葉と 書き言葉を区別しよう）	読者の目線で作る（書いた文章が誰に 対してあるのかを考えながら紙面を 編集しよう）	読者の目線で作る（書いた文章が誰に 対してあるのかを考えながら紙面を 編集しよう）	説得力のある文章を書こう（批評文を 書こう）
②構成の検討					
③本文の形成・ 記述					
④推敲					
⑤共有					

学習の振り返り		
年 月 日（ ） 年 組 番 名前 		
単元名 ねらい ① 「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」		番号 名前
学習の振り返り 年 月 日（ ） 年 組 番 名前 		
単元名 ねらい ⑤ 「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」		
	次時に取り組みとよいこと	
5	ねらいを達成するために本時で取り組みのこと 振り返り	

1 - 1 目標や評価に関する取組：振り返りの工夫

7

振り返り① 各時での振り返り

学習の振り返り	
年 月 日 () 年 組 番 名前	
単元名	
ねらい	
1	ねらいを達成するために本時で取り組むこと 振り返り 次時に取り組むとよいこと
2	ねらいを達成するために本時で取り組むこと 振り返り 次時に取り組むとよいこと
3	ねらいを達成するために本時で取り組むこと 振り返り 次時に取り組むとよいこと

「書くこと」の評価規準を
ふまえた単元のねらい

単元のねらいを達成するために
「本時で取り組むこと」
「振り返り」
「次時で取り組むとよいこと」

1 - 1 目標や評価に関する取組：振り返りの工夫

8

振り返り② 各単元の振り返り

学習の振り返り	
年 月 日 ()	年 組 番 名前
単元名	
ねらい	
「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」	

「書くこと」の評価規準を
ふまえた単元のねらい

「できるようになったこと」
「工夫しようとしたが十分では
なかったこと」について、
具体的に記入する。

1 - 1 目標や評価に関する取組：振り返りの工夫

9

振り返り② 各単元の振り返り

学習の振り返り

年 月 日 () 年 組 番 名前

単元名
ねらい
「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」

	単元 1	単元 2	単元 3	単元 4	単元 5	
① 題材の設定・情報 の収集・内容 の検討	☐	☐				
② 構成の検討		☐		☐	☐	
③ 考えの形成・記 述				☐		
④ 推敲			☐			
⑤ 共有			☐		☐	

1 - 2 目標や評価に関する取組：評価の工夫

10

学習評価の工夫①

「イ 構成の検討」
その時の心情を表現するために、「口調」や「擬態語を入れる」などを工夫した。また、場面の移り変わりの場所を考えたり、構成を工夫した。

「オ 共有」
文法上の誤りや誤字・脱字はもちろん、どのように段落分けすればよいかなどを助言から考えることができた。その上で良い点を見つけ、さらに良くしようと工夫することができた。

	6	7	9	11
	言葉を選ぼう（「伝える」表現とは何かを考え、選んだ言葉についてわかりやすく説明しよう）	文章の形態を選んで書く（思い出に残った出来事を文章にしよう）	推敲して文章を整える（書いた文章を推敲しよう）	魅力的な紙面を作ろう（新型コロナウイルス感染症に対する、考えを伝えるための紙面を編集しよう）
①題材の設定・情報の収集・内容の検討	伝えたい人や伝えたいことに応じて、伝える方法・形式を客観的に考えることができた。			伝えたいテーマに沿って自分が特に言いたい題材を決め、それについて様々な記事を読み比べ、より信頼性が高いものにできた。伝えたいテーマと記事のつながりが少し分かりにくくなってしまった。
②構成の検討		その時の心情を表現するために、「口調」や「擬態語を入れる」などを工夫した。また、場面の移り変わりの場所を考えたり、構成を工夫したりした。		
③考えの形成・記述				いつもは抽象的で曖昧な言葉を使いがちだが、今回はそのような言葉を極力使わないように心がけた。考えが伝わる文章にするために、文章の順番を考えられたと思うのでよかった。
④推敲			自分で見返している時には気づきにくい改善点を、他の人の文章を読むことで見つけることができた。他の人の文章を読むと、自分が書く時難しかった部分で直すべき所が見つけられた。	
⑤共有		文法上の誤りや誤字・脱字はもちろん、どのように段落分けすればよいかなどを助言から考えることができた。その上で良い点を見つけ、さらに良くしようと工夫することができた。		

1 - 2 目標や評価に関する取組：評価の工夫

11

学習評価の工夫②

「ア 題材の設定・情報の収集・内容の検討」(6月)

伝えたい人や伝えたいことに
応じて、伝える方法・形式を客観
的に考えることができた。

「ア 題材の設定・情報の収集・内容の検討」(11月)

伝えたいテーマに沿って自分が特に言いた
い題材を決め、それについて様々な記事を
読み比べ、より信頼性が高いものにできた。
伝えたいテーマと記事のつながりが少し分
かりにくくなってしまった。

	6	7	9	11
	言葉を選ぼう（「伝わる」表現とは何かを考え、選んだ言葉についてわかりやすく説明しよう）	文章の形態を選んで書く（思い出に残った出来事を文章にしよう）	推敲して文章を整える（書いた文章を推敲しよう）	魅力的な紙面を作ろう（新型コロナウイルス感染症に対する、考えを伝えるための紙面を編集しよう）
①題材の設定・情報の収集・内容の検討	伝えたい人や伝えたいことに 応じて、伝える方法・形式を 客観的に考えることができ た。			伝えたいテーマに沿って自分が特に 言いたい題材を決め、それについ て様々な記事を読み比べ、より信頼 性が高いものにできた。伝えたいテ ーマと記事のつながりが少し分かり にくくなってしまった。
②構成の検討		その時の心情を表現するため に、「口調」や「擬態語を入れ る」などを工夫した。また、場 面の移り変わりの場所を考えたり 、構成を工夫したりした。		
③考えの形成・記述				いつもは抽象的で曖昧な言葉を使 いがちだが、今回はそのような 言葉を極力使わないように心が けた。考えが伝わる文章にする ために、文章の順番を考えら れたと思うのでよかった。
④推敲			自分で見返している時には気づき にくい改善点を、他の人の文章を 読むことで見つけることができた。 他の人の文章を読むと、自分が書 く時難しかった部分で直すべき所 が見つけられた。	
⑤共有		文法上の誤りや誤字・脱字はもち ろん、どのように段落分けす ればよいかなどを助言から考え ることができた。その上で良い 点を見つけ、さらに良くしようと 工夫することができた。		

目標や評価に関する取組：評価の工夫

学習評価の工夫③

1 年次

	単元 1	単元 2	単元 3	単元 4	単元 5
① 題材の設定・情報の収集・内容の検討					
② 構成の検討					
③ 考えの形成・記述					
④ 推敲					
⑤ 共有					

2 年次

	単元 1	単元 2	単元 3	単元 4	単元 5
① 題材の設定・情報の収集・内容の検討					
② 構成の検討					
③ 考えの形成・記述					
④ 推敲					
⑤ 共有					

3 年次

	単元 1	単元 2	単元 3	単元 4	単元 5
① 題材の設定・情報の収集・内容の検討					
② 構成の検討					
③ 考えの形成・記述					
④ 推敲					
⑤ 共有					

三年間の「学びの見通し」「学びの成果」

2 - 1 語彙に関する取組：日常的な取組

13

日常的な取組

学年カラーの語彙ノート

69	10 月 27日(火)	意味
言葉	感嘆	よくやったものだ、と感心すること。
メモ	P162 感嘆したのかもしれない。 ① 感嘆の声をもらす。 ああ、熱意には感嘆する。	
類	称嘆、嘆声	

2年生の記述

156	10 月 27 日(火)	意味
言葉	潮流	① 潮の満ち干におこる海水の流れ。 ② 世の中の動向、ものごとの進む方向
メモ	(例文) 令和時代の潮流にははたの3つと、小競り合いは発生している。(スクショ) (類義語) 時流、トレンド ↑ 特に経済変動のトレンドの流行(=2021年)	

3年生の記述

1 ページ 2 語 1 冊 200 語

類 行使、使役
① 物理的・技術的に駆使して、実用する
コンピューターを駆使する

類 理、条理、情理
① 物理の道理と説く
道理にかなった説明をさく

反 無理→筋道が通らないこと。① 無理を通す

2 - 2

14

日常的な取組

学年カラーの語彙ノート



(15)	6月4日(木)	意味
言葉		悪い点を改めるように、よく言い聞かせる。
説諭		
文法		「あ、衆生退利！また今日は時刻を早く5分前終りを知らせる。」 「是乎、誤解してゐたやが。」 「あ、そんなことはないわ。」 「是れだ、又明日退利してきてくれよ。」

(16)	6月4日(木)	意味
言葉		まぐれ当たりによる利益を望む気持。
射幸心		
文法		「あの席になんないかな。」 「射幸心がさういふ。娯楽は娯楽だよ、何でそんなにあの席がええのよ？奪れるじゃん。丁度良く日本舞がある、て風だから。」 「へー。まさかの娯楽だね。」

(17)	6月4日(木)	意味
言葉		答めなければならぬことを大目に見て、わざと見逃すこと。
目こぼし		
文法		「目こぼしてもらおう。たいていはいいかな。」 「僕が何したって言うんだろ。」 「釣坐したたる。今日ハッピーバースデー、アゲくち。お前のバースデー、みんな祝集した覚え……あったらね。よし行くぞ。」

(18)	6月4日(木)	意味
言葉		言解や非難に對し、自分の立場や考えを説明して、理解を求める。
釈明		
文法		「釈明り金地は。」 「ない。」 「まあ、聞いて。アイカを忘れたから空掌して、明日返すから。」 「あー。そういうこと、なるわけね。一言だけ借金せよ、はなってる。」

1 ページ 2 語 1 冊 200 語

「書くこと」と関連させた取組

作家ガイドで使いたい抽象的な概念を表す語句

珠玉の心
固執の差
共感異
想定鳴
形骸志
愚直骸
論動骸
論旨骸
実感骸
信仰骸

線対極
喚叫綿
密精緻
理憾惧
倫遺危

架空特
征怒率
直葛藤
自嘲秘
鄉神

発想感
濤真
藤欠
刺激

思想化
展開髓
拒絶
如意
失刺

思想同
調予和
後悔
屈指
密接

外想
衝撃
荒廃
継承

「押し」ポイント

「推しポイント」

伏線がはりめぐらされており、最後まで、全く予想できない衝撃の展開が、心を引きつけ、読者を濃密な空間に引き込んでいくところ。

作家ガイドでの生徒の記述

3 - 1 各学年の授業実践：魅力的な記事を書こう（3年）

15

単元の見標

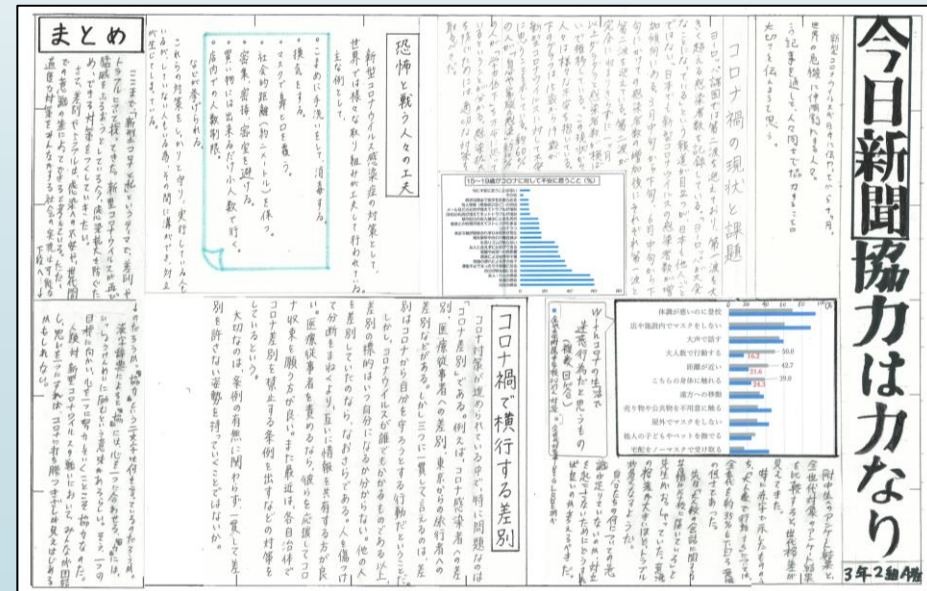
1 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1)イ

2 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)ア

3 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)ウ



3 - 1 各学年の授業実践：魅力的な記事を書こう（3年）

16

授業風景(写真)

- ①目的にあわせて社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝える内容を明確にする。
- ③表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する。

1	ねらいを達成するために本時で取り組むこと コロナウイルスについての自分の思いをまとめ、そのために必要な資料などを考える。 振り返り 実際に自分たちが経験したことをテーマにすることで、より言葉が得やすかったと感じた。 次時に取り組むとよいこと 伝えることを、誰に、どのように伝えるかを考える。
2	ねらいを達成するために本時で取り組むこと 誰に、何を、どのように伝えるのかをグループで決める。 振り返り 誰に伝えるかを決めることにより、どのような表現をするべきか分かった。 次時に取り組むとよいこと クラスの人に体操服登校や水筒持参についてのアンケートを取る。
3	ねらいを達成するために本時で取り組むこと 体操服登校や水筒持参に対して便利になったか不便になったかアンケートを取る。 振り返り 実際にアンケートを取って、意見を取り入れられた。メリットの中でもデメリットを探してみた。 次時に取り組むとよいこと 実際に記事にあるように大人に伝えるに適した言葉を使う。図などを使えないか考えてみる。
4	ねらいを達成するために本時で取り組むこと 「誰に伝えるか」を意識した言葉や文字の大きさを考えて書く。 振り返り 大人に向けて伝えるので、あえて「です」「は」ではなく「だ」の語尾にそろえた。 次時に取り組むとよいこと 高齢者でも読みやすいように文字と文の間隔に気をつけるなど工夫をして清書を仕上げる。

3 - 1 各学年の授業実践：魅力的な記事を書こう（3年）

17

授業風景(動画)

3-1 各学年の授業実践：魅力的な記事を書こう（3年）

18

2	ねらいを達成するために本時で取り組むこと ① ねらいを達成するために本時で取り組むこと 振り返り → ①が難しいのは、論理に1つ 次時に取り組むとよいこと	何を目標にして... 達成できたこと グループで伝えたいことは本当に一致しているかを確認める。 → 伝えたいことを固め、筋道立てて説明できるようにする。そこから必要な情報がみえてくると思う。
3	ねらいを達成するために本時で取り組むこと ① ねらいを達成するために本時で取り組むこと 振り返り → ①が難しいのは、論理に1つ 次時に取り組むとよいこと	
4	下書きを見て、論理的におかしなところはないか、修正する。 → 文章の工夫についてもアドバイスできた。各自で担当したので、つなぐ部分はどうするか時間がかかってしまった。	下書きを見て、論理的におかしなところはないか、修正する。 → 文章の工夫についてもアドバイスできた。各自で担当したので、つなぐ部分はどうするか時間がかかってしまった。

3-1 各学年の授業実践：魅力的な記事を書こう（3年）

19

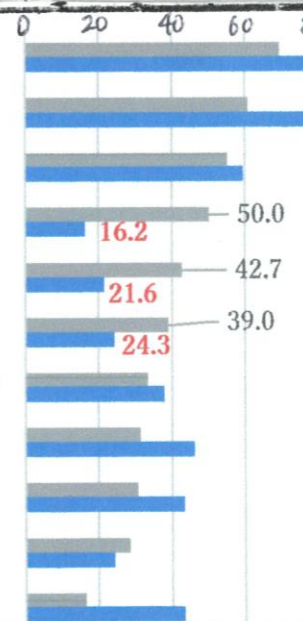
「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」

資料の数値を効果的に使用し、（ただ羅列するのではなく、強調したいことに関する部分を取り上げる）警告したいときは日常生活ではあまり使わないような緊迫感漂う言葉、呼びかけるときはなじみ深い言葉を使用するようにした。

資料の数値を効果的に使用し、
（ただ羅列するのではなく、強調したいことに関する部分を取り上げる）警告したいときは日常生活ではあまり使わないような緊迫感漂う言葉、呼びかけるときはなじみ深い言葉を使用するようにした。

ウィーンコロナの生活で
迷惑行為だと思ふもの
（複数回答）

体調が悪いのに登校
店や施設内でマスクをしない
大声で話す
大人数で行動する
距離が近い
こちらの身体に触れる
遠方への移動
売り物や公共物を不用意に触る
屋外でマスクをしない
他人の子どもやペットを撫でる
宅配をノーマスクで受け取る



自分たちの何についてこの意識が足りていないのか、対立を起さないためにどうすれば良いのか考えるべきだ。

先日「大人数の会話に関する苦情が学校に届いてる」と先生がおっしゃっていた。意識の格差が大きいほど、トラブルが多くなるようだ。

時に赤字で示したもののうち、大人数で行動するについては、全世代を約35%も下回る意識の低さであった。

見えてきた。

漢字辞典によると「協」には、心を一つに合わせる、協力には、いっしょけんめいに励むという意味があるらしい。そう、一つの目標に向かい、心を一つに協力していくことこそ協力なのだ。

単元の日標

- 1 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，類義語や対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕 (1)工
- 2 目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にすることができる。〔思考力・判断力・表現力等〕 B (1)ア
- 3 表現の工夫とその効果などについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。〔思考力・判断力・表現力等〕 B (1)才

3-2 各学年の授業実践：「推し」の作家ガイドを作ろう（2年）

21

単元のねらい

- 作家の情報を観点を決めて集め、整理することができる。
- 「推し」である理由が明確である。

授業風景(写真)

1	ねらいを達成するために本時で取り組むこと ① カテゴリーごとに作者の情報をかく 目標と工夫点を考えよう。→ 自分の好きな所をしっかりと、興味を持ってもらう 振り返り ② 興味を持ってもらうために必要な情報は何かしっかりと考えることができた。 次時に取り組むとよいこと 今日考えた工夫点を取り入れて書く。
2	ねらいを達成するために本時で取り組むこと 工夫点を入れよう。 振り返り ③ カテゴリーごとにポイント 次時に取り組むとよいこと 必要な情報をかきとる。 自分のガイドに足りないものを考えよう。 → 友達の人にアドバイスをもらいましょう
3	ねらいを達成するために本時で取り組むこと 自分のガイドに足りないものを考えよう。 振り返り 友達の意見 次時に取り組むとよいこと 他者から
4	ねらいを達成 改善点 振り返り ④ 他の人にインタビューし、他の人からの感想をのせることができた。作者のイメージがつかみやすくなった。 次時に取り組むとよいこと 清書の続き、自分の文のなかし(感情を表す言葉を入れる)

3-2 各学年の授業実践：「推し」の作家ガイドを作ろう（2年）

22

「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」

作家の魅力に、「作風の良さ」「ストーリーの良さ」「表現の良さ」
「物語の書き方の良さ」「キャラクターの良さ」
など、もっとたくさんの良さを書いて、色々な人の視点でも
「良い」と感じられるようなガイドにしたい。

3. この作家を推す理由

以下の理由で、阿部さんの作品を読んでほしい。

- ① 阿部さんの作品は、苦しい、楽しい、切ないなどの感情がよりストーリーを現実的にし、読者をのめり込ませる。
- ② ラストに意外で感動する展開があり、その後のストーリーに目が離せない。
- ③ 美しい情景、言葉で表現された感情に感動でき、ページをめくるのが楽しくなる。

小説家 阿部 咲子

1. プロフィール

岩手県出身、花巻市在住。岩手県立花巻北高校卒業。
受賞歴 ・(プロデビュー前) 2003年 - 第18回全国高等学校文芸コンクール
小説部門最優秀賞・文部科学大臣奨励賞
・2008年 - cobalt 短編小説「陸の魚」
(デビュー作) ・2008年 - 第17回ロマン大賞「いつまでも」(刊行時『上ボイズ』に改題)

2. おすすめする作品

(シリーズ累計15万部突破!)

ひと夏の季節が生んだ物語!! 「どこよりも遠い場所にいる君へ」



あらすじ

ある秘密を抱えた月瀬希は、知り合いのいない環境を求め、離島の采岐島高校に進学した。采岐島には「神隠しの入り江」と呼ばれる場所があり、夏の初め、和希はそこで少女がたおれているを発見する。意識を取り戻した少女は七尾、16歳。彼女が明言した住所は、

ました。(バリネコ)

女 悲そうなストーリー
一つの中にも、珍
場人物の思ひ
によって、物語全
体がめくられる

止まりませんでして。
(アリス)

こみ上げ、涙があふれ
ました。(バリネコ)

よりストーリーを現実的

に目が離せない。
めくるのが楽しくなる。

3-2 各学年の授業実践：「押し」の作家ガイドを作ろう（2年）

23

○単元のねらい

自分のガイドのよい点や改善点を見いだすことができる。

「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」

「無我夢中」や「奇想天外」などの四字熟語を使うこと
よ、こ、読者に本の印象を強くさせ、読みたくなるよう
な効果を与えた。「フクフク」や「ゾクゾク」などの
擬態語を使うことにより、分かりやすく本を紹介できたと思う。

「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」

「引きこまれた」や、「雰囲気を楽しめた」など、臨場感を表す
語句を、感想や押しポイントに書くことで、読者に興味
を持たせるようにできた。 改善点として例えば体言止めを
使うことで、大事な所を強調し、紹介する人の特徴を読者に
やすくした方が良かった。

3－3 各学年の授業実践：ボキャノレポートを書こう（1年）

24

単元の目標

- ・事象や行為，心情を表す語句の量を増すと同時に，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

〔知識及び技能〕 (1)ウ

- ・目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にすることができる。

〔思考力，判断力，表現力等〕 B (1)ア

- ・根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができる。

〔思考力，判断力，表現力等〕 B (1)ウ

- ・言葉がもつ価値に気付くとともに，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力，人間性等」

3-3 各学年の授業実践：ボキャノレポートを書こう（1年）

25

学習の振り返り

年 組 番 名前

振り返り	振り返り
① 目的にあわせて題材を決め、集めた材料を整理し、伝える内容を明確にする。	
③ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	
27	これから取り組むこと
10	ねらいを達成するために途中で取り組むこと
27	振り返り
	次週に取り組むこと
	ねらいを達成するために途中で取り組むこと
	振り返り
	次週に取り組むこと
	ねらいを達成するために途中で取り組むこと
	振り返り

- ①目的にあわせて題材を決め，集めた材料を整理し，伝える内容を明確にする。
- ③根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。

学習の振り返り2

年 月 日 () 年 組 番 名前

① 目的にあわせて題材を決め、集めた材料を整理し、伝える内容を明確にする。

学習の振り返り

年 月 日 () 年 組 番 名前

③ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。

3-3 各学年の授業実践：ボキャノレポートを書こう（1年）

27

学習の振り返り2

20年 10月 30日(金) /年 2組

単元名 ボキャノレポートを書こう

① 目的にあわせて題材を決め、集めた材料を整理し、伝える内容を明確にする。

↑ に関して「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」
集めた情報をレボリ、お伝えの内容を明確にすることができた。インターネットで情報を集められたので、量を考えた。

↑ に関して「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」

集めた情報をレボリ、お伝えの内容を明確にすることができた。インターネットで情報を集められたので、量を考えた。

学習の振り返り

20年 10月 30日(金) /年 2

単元名 ボキャノレポートを書こう

⑤根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。

↑ に関して「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」
自分の予想をあらかじめ調べてみた。考え、事実、を分けて書くことができた。考察を根拠を明確にしながら書くことができた。

↑ に関して「できるようになったこと」「工夫しようとしたが、十分ではなかったこと」

自分の予想をあらかじめ調べてみた。考え、事実、を分けて書くことができた。考察を根拠を明確にしながら書くことができた。

3-3 各学年の授業実践：ボキャノレポートを書こう（1年）

28

永遠と永久の使い分け

<永遠と永久>

「永遠」と「永久」似ているようで似ていないこの2つの言葉が、それぞれどんな時に使って使わないのか、どのように使い分けられているのか、
 例えは、「永遠の名曲」とは、「永久の名曲」とは、
 言われない。他にも様々な場面が分けてつかわれている。

私は物体に永久を使い、物体ではないものに永遠を使うと予想した。
 <調べ方>

- ① 国語辞典でそれぞれの意味、使い方を調べる。
- ② クラスの人にアンケートを行い、実際の使われ方を調べる。

結果
 国語辞典では、永遠 → 時の続くかぎり/残る
 永久 → 時間的につづく

記事には、永遠 → 形のある物質的のものに対して使う
 永久 → 形のない観念的なものに対して使う

例として、永遠の命（永久凍土）
 永遠の夢（永久凍土）
 アンケートでは、2つの例文をあげ、その中に入るのは、
 永遠か永久かを答えてもらった。結果は下の表になった。

	永遠	永久
①	12	23
②	30	5

※正解は1 → 永久
 2 → 永遠

クラスで3/5以上の人が、永遠と永久の使い分けができた。
 しかし、1人の例文では永久の凍土を使い、また、国語辞典やインターネットでは、それぞれ意味、使い方が分かれたが、実際は、少しおかしな使い分けがされているように感じた。

「考察」の部分に、調べた事実のみを書いている。

「永遠」と「永久」の使い分け

「永遠」と「永久」似ているようで似ていないこの2つの言葉が、それぞれどんな時に使って使わないのか、どのように使い分けられているのか、
 他にも様々な場面が分けて使われている。
 それぞれの意味、使い方、使い分けについて調べてみた。また、調べた人が正しく使っているか調べた。

使い分け → 物体には「永久」、物体ではないものに「永遠」を使うと予想した。

- <調べ方>
- ① 国語辞典でそれぞれの意味を調べる。
 - ② インターネットで使い方、使い分けについて調べる。
 - ③ クラスの人にアンケートを行い、実際に使われているか調べる。

結果
 国語辞典 ... 永遠 → 時の続く限り/残る
 永久 → 時間的に続く
 インターネット ... 永遠 → 形のある物質的のもの
 永久 → 形のない観念的なもの
 例として、永遠の命（永久凍土）
 永遠の夢（永久凍土）
 クラスの人に、行ったアンケートでは、2つの例文をあげ、その中に入るのは、
 「永遠」か「永久」かを答えてもらった。

	永遠	永久
①	12	23
②	30	5

※正解は1 → 永久
 2 → 永遠

クラスで3/5以上の人が、永遠と永久の使い分けができた。予想は当たっていたが、
 「永遠」の使い方は、少しおかしな感じがあった。国語辞典やインターネットでは、
 それぞれ意味、使い分けが分かれたが、アンケートでは、少しおかしな使い分けが
 されているように感じた。

自分の予想を述べ、調べたことを根拠として「考察」としている。

4 成果と課題

29

- 振り返りの活用により，単元における目標を明確化し，生徒自身が達成に向けて学習の状況を自覚することができた。
- 生徒の学習の様子を把握しやすくすることで，評価や授業改善の手立てとすることができた。
- 「語彙」に関する，学年段階に応じた手立てについて検討・実施できた。
- 振り返りの形式を，より使いやすいものに改善していく必要がある。